

[ホーム](#)[くらしと環境](#)[福祉と健康](#)[仕事と産業](#)[市政と広報](#)[ま](#)

(H29.2.3～5)リノベーションスクール@浜村温泉の開催について

現在、鳥取市は「リノベーションまちづくり」に取り組んでいます。これは、古い建物に今の時代に適した新しい機能を加えるリノベーションの手法により、増えつつある空き家、空き店舗などの遊休不動産を再生し、そこで新たな商売などを行うことによって雇用や賑わいを生み出し、建物単体だけではなく、まち(エリア)の価値を高めることを目的とした取り組みです。

これまで、主に中心市街地を対象としてリノベーションまちづくりの取り組みを進めてきましたが、新地域の地域生活拠点でも同様の取り組みを行います。

今年度は、気高地域で「リノベーションスクール」を開催し、リノベーションまちづくりに取り組む「担い手」の育成を通して、民間主体による遊休不動産の活用促進、産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、移住定住促進、エリア価値の向上を図ります。

リノベーションスクールの概要

「リノベーションスクール」は、2011年に北九州市で始まった、遊休不動産の活用を通じた都市再生手法を学び、体験する「まちづくりのための短期集中スクール」です。

スクールでは、県内外から集まった受講生と国内で先駆的な取り組みを行っている講師が一丸となり、気高地域の遊休不動産を対象にしたリノベーションの事業計画を3日間かけて作成し、最終日には所有者に向け公開プレゼンテーションを行います。

スクール終了後は、民間が主体となり、各提案のブラッシュアップを重ねて、事業化に向け取り組んでいきます。

開催期間

平成29年2月3日(金)～5日(日)

対象物件

気高地域内の遊休不動産 3件(予定)

受講生

24名程度(予定)

その他

受講生募集日程、スケジュール、講師等については決まり次第お知らせします。